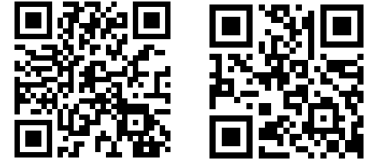


地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第202号



2023年8月21日発行

ホームページ メール

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

90-1837-5347 239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



組合員拡大活動③ 三浦市職労

三浦市職員労働組合は組合員数約300人で、ここ数十年90%以上の加入率を維持しています。その大きな理由は、新採用職員の確実な加入です。市当局との信頼関係をベースに、理解と協力を得ながら、4年目となるコロナ禍での組合説明会を継続できています。

説明会では、市役所ライフのサポーターとして、日頃から身近な存在として活動していることも。専従書記やろうきんの担当者とともに、丁寧に説明することを心がけています。

また、サークル紹介のコーナーでは、先輩たちが駆けつけてくれて、会場が一気に賑やかで和やかな雰囲気となり、アツイアドバイスも語ってくれます。

このように、三浦市職労では、組合とろうきんと当局と先輩たちと一緒に取り組むことで、高い組織率という「財産」を毎年引き継ぐことができていると実感しています。

平和フィールドワークに15名参加！

7/22(土)、神奈川県労働女性センターは、「平和フィールドワーク IN 横須賀」を開催し、横三労連からは、講師依頼を受けた事務局長の他、年金者組合から萩原さん(平和委員会会長)と藤園さん(市議)が参加、昼の交流会には、秋本副議長と藤枝事務局次長が参加しました。

トライアングル社の「軍港めぐり」45分間に乗ったあと、補足の解説をしますが、軍艦を初めて見る人や、トライアングル社の船は初めてという人が多く、ガイドの流ちょうな解説に引き込まれます。しかし終了後、解説され

なかったことや、安保3文書改訂で、戦争準備が進んでいる実態を説明すると、再び深刻な現実に戻されたようです。

ノースドックへの新設舞台設備が、横須賀にも影響する事が、真剣に受け止められ、ノースドック署名を全県で取り組む意義も明らかになったようです。

終了後、市場食堂に移動して、楽しいひと時を過ごしました。女性センターの三井さんは、横須賀の女性パワーに圧倒されたと言っていました。

労働学校、第3回に10名参加！

横須賀三浦地域労働学校・3回目「岸田内閣の安保・対米従属政治について」は、8/5(土)午後、文化会館で行われ、10名が参加しました。新谷先生の講義を聞くのは久々という人が多く、まだまだ健在な新谷節に、皆真剣に聞き入っていました。新旧安保条約の資料が斬新でした。

